

(様式1) ※A3判(1枚)に収める。実践充実プランの内容と年間推進計画書との整合性に留意して記載すること。

「道徳教育推進拠点校事業」実践充実プラン 南国市立岡豊小学校		校長	島内 祥夫	教員数	18	児童生徒数 学級数	第1学年		第2学年		第3学年		第4学年		第5学年		第6学年		合計		
		道徳教育推進教師	井上 一志	38	2		30	1	30	1	30	1	35	1	35	1	198	7			
研究テーマ		道徳科の趣旨を踏まえた指導方法の工夫・改善と評価の在り方に関する実践研究により、児童一人一人の道徳性の向上を目指した道徳教育の推進																			
年度当初の学校の状況		到達目標				中間検証(下半期に向けての改善事項)								年度末(到達目標達成状況)							
<p>本校の児童は、道徳科の学習に対して主体的に取り組み、自らの考えを深めていく学びができるようになってきた。年度当初に行った道徳意識調査において、道徳の学習に対する肯定的評価は85.4%であった。しかし、「道徳の授業では、自分の考えを伝えたり、ほかの人の考えを聞いたりしながら、自分のこと(生き方)についてよく考えている。」の項目の肯定的評価は83.6%であり、児童が道徳的価値とのかかわりにおいて自分自身を見つめ、将来いかにによりよく生きるかということについて考えを深めることができるように、児童が自分自身に問いを発することができるような手だてについての研究の必要性が明らかになってきた。また、家庭・地域との連携についても計画的に進めていく必要がある。</p>		<p>①道徳の学習に対する意識を4ポイント以上向上(年度当初85.4%) ②「道徳の授業では、自分の考えを伝えたり、ほかの人の考えを聞いたりしながら、自分のこと(生き方)についてよく考えている。」5ポイント以上向上(年度当初83%) ③「家の人と道徳の話をしたり、「家庭で取り組む 高知の道徳」を読んだりしている。」5ポイント以上向上(年度当初62.6%) ④「自分には、よいところがあると思う」5ポイント以上向上(年度当初77.6%) ⑤「いじめはどんな理由があっても、いけないことだと思う」100%(年度当初93.5%) ⑥「学校のきまりを守っている」5ポイント以上向上(年度当初89.8%)</p>																			
到達目標達成のための取組		取組計画 ※評価 A(十分できた) B(おおむねできた) C(あまりできていない) D(全くできていない)																		指標達成状況の分析	
取組項目	取組の評価指標	5月～8月				中間評価	9月～2月(中間検証を踏まえての追記・変更可)								達成状況		年度末評価				
道徳科の趣旨を踏まえた指導計画の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆運営会議(毎月開催)にて、進捗状況を報告する。</li> <li>◆各学年の別業、年間指導計画に基づく取組の検証(3回以上)</li> <li>◆管理職、道徳推進教師が、全学級の道徳科の授業を参観する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①道徳教育の全体計画(各学年の別業)、各学年の道徳科の年間指導計画の作成</li> <li>②道徳推進教師が全ての道徳科の授業を参観できる体制の構築</li> <li>③授業者と推進教師が、事前研→授業実施→事後研のサイクルにおいて短時間で打合せをする時間の確保</li> <li>④道徳意識調査の結果の協議・取組策の検討(運営会議)</li> </ul>					<ul style="list-style-type: none"> <li>①道徳教育の全体計画(各学年の別業)、各学年の道徳科の年間指導計画に基づいた実践と改善に向けた書き込み・道徳科の内容と各教科、特別活動等との関連について検証・道徳科の年間指導計画の評価欄への記入(随時)</li> <li>②授業者と推進教師による事前研→授業実施→事後研のサイクル化の定着と授業の質の向上</li> <li>③意識調査の検証を踏まえた改善策の検討(運営会議)</li> <li>④小・中学校道徳教育研究協議会の報告会を開催し、効果的な取組を共有</li> </ul>														
道徳科の趣旨を踏まえた「考え、議論する道徳」の授業研究	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆道徳授業チェック【教師用】及び【児童生徒用】の評価を3以上にする。</li> <li>◆公開授業研においては、広く案内をして、授業についての意見をもらう。(6回以上)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①授業研究3回(講師招聘)</li> <li>②道徳授業チェックシート(全教師、全児童)の結果及び個人内評価に係る協議・授業改善の検討</li> <li>③学習指導案、教具、板書写真の整理・保管</li> <li>④他校(指定校)の公開授業への参加(2回、計4名)</li> </ul>					<ul style="list-style-type: none"> <li>①授業研究3回(講師招聘)</li> <li>・道徳授業チェックシートの活用・集計・分析</li> <li>②道徳授業チェックシートの結果及び個人内評価の協議・検討</li> <li>③学習指導案、教具、板書写真、授業記録等の整理・保管</li> </ul>														
道徳科の趣旨を踏まえた評価の研究	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆評価の仕方を共有する。(学期1回)</li> <li>◆学期末の個人懇談で、学習状況や道徳性に係る成長の様子を保護者に伝える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①道徳ノート、板書、評価簿を活用して、毎時間の道徳科の授業での児童の学習状況や道徳性に係る成長の様子を把握する。</li> <li>②評価の仕方を校内で共有し、学期末の個人懇談で保護者に伝える。</li> </ul>					<ul style="list-style-type: none"> <li>①道徳ノート、板書、評価簿を活用して、毎時間の道徳科の授業での児童の学習状況や道徳性に係る成長の様子を把握する。</li> <li>②評価の仕方を校内で共有し、学期末の個人懇談で保護者に伝える。</li> </ul>														
家庭・地域と連携した道徳教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆道徳参観日を実施し、保護者や地域の人に参観を呼びかける。</li> <li>◆学校だよりや道徳だよりで取組・成果について発信する。</li> <li>◆保護者や地域住民を活用した道徳科授業の実践(各学年1回)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①5月の参観日における学級懇談で道徳学習の取組について説明する。その際、「高知の道徳」を紹介する。</li> <li>②毎月のたよりに、授業の様子や「高知の道徳」の内容をシリーズ化して紹介・啓発する。</li> <li>③「高知の道徳」に係る家庭での取組を提案する。</li> <li>④保護者や地域住民を活用した道徳科の授業をコーディネートする。</li> </ul>					<ul style="list-style-type: none"> <li>①道徳参観日を実施(全学級公開)する。OMOYARI集会も同日に行い、保護者や地域の方に児童の思いやりあふれる取組発表の様子も公開する。</li> <li>②毎月のたよりで授業の様子を紹介する。</li> <li>③「高知の道徳」に係る家庭での取組を提案する。</li> <li>④保護者や地域住民を活用した道徳科の授業をコーディネートする。</li> </ul>														